

高校生のための心肺蘇生講習について

室蘭市医師会では、地域への医療啓蒙活動の一つとして、平成22年度から「高校生のための心肺蘇生講習会」を実施しています。

これは、室蘭地区の高校生を対象に、室蘭市医師会から講習機材や講習スタッフを高校に派遣し、心肺蘇生の方法やAEDの使用方法を体験してもらう事業です。

昨年度は、平成23年7月20日に室蘭東翔高校で、2年生 192名を対象に講習会を実施しました。

講習に使用する機材として、室蘭市医師会では心肺蘇生の練習モデル「ミニアン」を35セット準備しています。また、室蘭市医師会所属の各医療機関、室蘭市消防本部、登別市消防本部からは、全身型モデルやAEDトレーナー等の講習機材の提供に加えて、医師、看護師、救急救命士等のインストラクター派遣にもご協力いただいています。

講習当日は、スライドやDVDを用いた全体での講義の後、高校生を25の班に分けて、合計38名のインストラクターの指導の下、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方を実際に体験学習してもらいました。

講習後の参加生徒のアンケートでは、多くの生徒から非常に良い回答をいただきました。本年度もさらに講習機材を充実させて、講習会の継続を予定しています。

室蘭市医師会は、今後も地域の医療啓蒙活動に、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

高校生のための心肺蘇生講習会 アンケート【平成23年7月20日 東翔高校】

在籍192名、欠席5名
参加者 187名 回答者 178名 回収率 95.19%

1. 今までに心肺蘇生に関する講習会などを受けたことがありますか？

はい	44名	24.72%
いいえ	134名	75.28%

2. 心臓マッサージや人工呼吸の方法を知っていましたか？

はい	29名	16.29%
なんとなく知っている	121名	67.98%
いいえ	28名	15.73%

3. 今日の講習会の時間はどうでしたか？

短い	9名	5.06%
ちょうどいい	157名	88.20%
長い	12名	6.74%

4. 今回の講習を受けて、心臓マッサージのことがわかりましたか？

はい	145名	81.46%
何となくわかった	33名	18.54%
わからなかった	0名	0.00%

5. 今後、倒れている人を見かけたら、声をかけてみますか？

はい	115名	64.61%
わからない、自信がない	62名	34.83%
いいえ	1名	0.56%

6. 今後、家族や知人が倒れて、呼吸が止まっていたり心臓が動いていないときに、心臓マッサージができそうですか？

はい	126名	70.79%
わからない	29名	16.29%
自信がない	23名	12.92%
いいえ	0名	0.00%

7. 何かご意見がありましたら記入してください。

- ・ とても良く学びました。
- ・ お忙しい中、ありがとうございました。家族が不整脈を持っているので、いざという時のため役立てます。
- ・ 教え方がとても解り易かったので、取っても良かったです。
- ・ AEDを実際に使っての講習は、初めてだったので、とても勉強になりました。忘れずに倒れる人がいたらやってみようと思います。
- ・ とても解り易かったです。ありがとうございました。
- ・ 勉強になりました。
- ・ 解り易かったです。ありがとうございました。
- ・ パワーポイントが解り易くて面白かったです。教えてくれた人が親切で解り易くとても良かったです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 今日はありがとうございました!!
- ・ この先身内が倒れたとしても、今回の実習で学んだことを実行し、人を助けたいと思いました! 今日はありがとうございました!
- ・ 楽しかったです。
- ・ すごく勉強になりました。人を助けられたらいいなと思います。
- ・ 人工呼吸の仕方も、実践は無しでも簡潔に教わりたかったです。
- ・ 為になりました。
- ・ 私たちのグループの担当の方が、とても解り易く教えてくださったので、覚えることが出来ました。
- ・ 為になりました。ありがとうございました!
- ・ ありがとうございました。
- ・ 楽しかった。
- ・ すごく楽しかったです!!
- ・ 楽しかったです!!
- ・ すっごく楽しかったです。
- ・ 浅田さん最高でした。とても良い勉強になりました。実際、倒れている人がいたら助けれそうです。
- ・ 心肺蘇生はかなり大変だったけど、人が倒れていたら、助けたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 楽しく、学びました。
- ・ 良かった!!
- ・ 東翔だけでなく、もっと広い範囲でこのような講習会を開いた方が良いと思います。
- ・ 今回、勉強できて良かったです。
- ・ もっと、他の講習を受けてみたいです。
- ・ 勉強になりました! ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ もっとこういう実習を受けられる人が増えて理解が深まれば良いなと思いました。



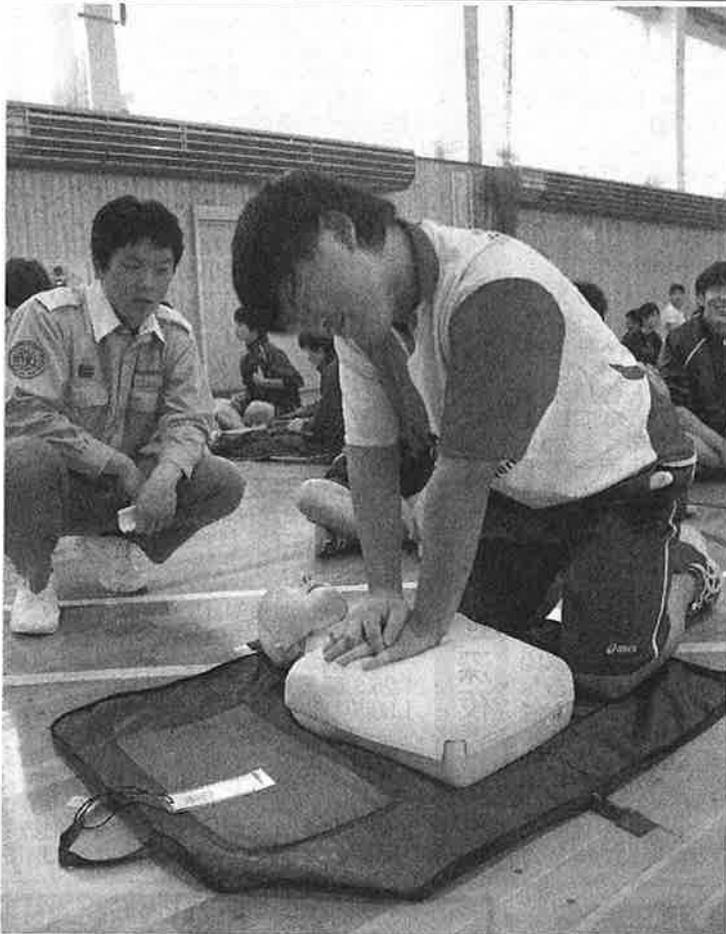
AEDは こうして

東翔高生 心肺蘇生法学ぶ

室蘭市医師会

室蘭市医師会(稲川 総合病院、製鉄記念室蘭病院長)の高校生のため、心肺蘇生法講習会が20日、高砂町の室蘭東翔高校(馬場保孝校長)で開かれた。生徒たちは心臓マッサージやAED(自動体外式除細動器)の使い方などを学んでいた。同校の2年生約190人が参加。市立室蘭

蘭病院、日鋼記念病院の麻酔科、循環器科の医師たちが指導した。初めにDVDで心肺蘇生を学習し、「心肺停止した場合、致死率は1分間で10%ずつ下がる。迅速な処置が必要です」という説明を受けた。続いて実習を開始。



「1分間に100回以上マッサージするように」ちは人形を相手に重ねて返した。上、みぞおちの上をマの指示に従い、生徒たた両手に力を込めて練

(吉本大樹)

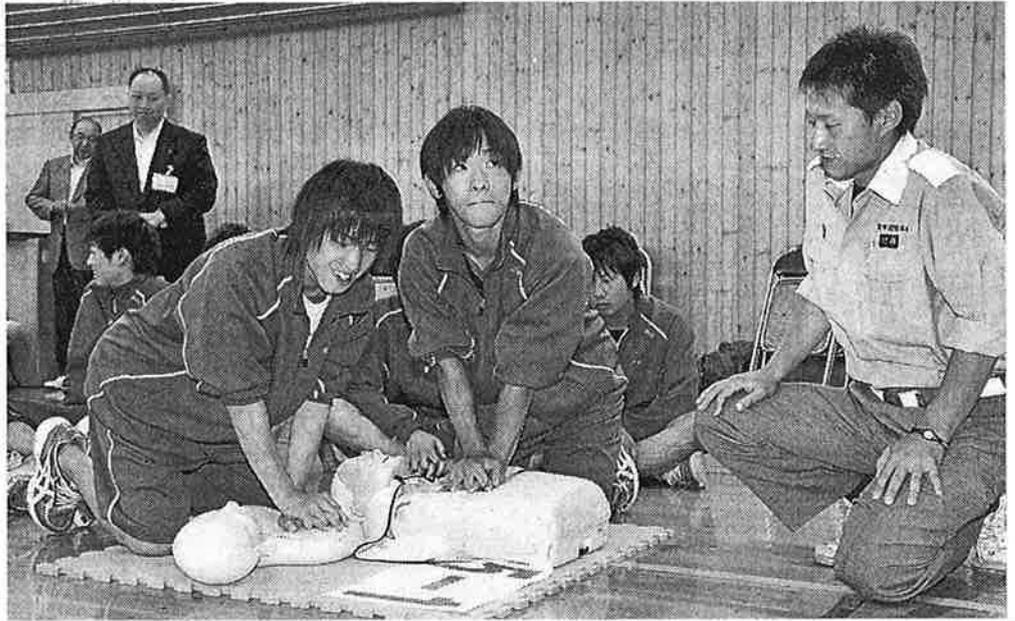
心臓マッサージを練習する室蘭東翔高校の生徒たち

2011年(平成23年)7月21日(木曜日)

「万一の時、役立てたい」

室蘭東翔高生 心肺蘇生法学ぶ

心肺蘇生法を学ぶ室蘭東翔高の2年生



から同講習を実施。この日は室蘭、登別両市の医師や看護師、消防署員ら計34人が講師を務めた。

生徒たちは5、6人のグループに分かれ、人形を使って1分間に100回のペースで胸骨を圧迫する心臓マッサージなどを学んだ。

岡崎泰輝君(16)は「万が一の場合に、学んだことを生かしたい」と話し、真剣な表情で講習に取り組んでいた。

(相沢宏)

室蘭市医師会(稲川昭会長)は20日、「高校生のための心肺蘇生講習」を室蘭東翔高校で開き、同校の2年生

192人が救命措置について学んだ。同医師会は、多くの高校生に救命法を学んでもらい、地域での救

命率を上げようと昨年